

## 北海道PCB廃棄物処理事業に係る環境モニタリング測定結果

資料 3

【平成18年度これまでの測定結果について】

- ・PCB及びダイオキシン類の測定結果は、全て環境基準等を下回るものとなっています。
- ・ベンゼンの測定結果は、環境基準（年平均値）を下回っています。

【周辺地域環境（道・市実施分）】

要素	調査地点	調査項目	単位	調査時期												年平均	頻度	環境基準値等
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
大気	新日鐵体育館 測定局	PCB	pg/m <sup>3</sup>	—	68	—	—	200	—	—	92	—	—	66 76	—	—	4回/年	500,000以下 *1
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	—	0.016	—	—	0.033	—	—	0.10	—	—	0.030 0.035	—	—	4回/年	0.6以下
		ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.82	0.99	0.20	0.16	2.5	6.5	6.3	2.6	0.88	2.7	1.2	2.5	2.3	12回/年	3以下
	御前水公園 測定局	PCB	pg/m <sup>3</sup>	—	190	—	—	340	—	—	61 57	—	—	45	—	—	4回/年	500,000以下 *1
		PCB *3	pg/m <sup>3</sup>	120	190	120	140	160	89	82	56	68	48	49	分析中	—	通年	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	—	0.017	—	—	0.041	—	—	0.022 0.024	—	—	0.013	—	—	4回/年	0.6以下
		ダイオキシン類 *3	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.025	0.023	0.012	0.014	0.045	0.025	0.018	0.061	0.035	0.035	0.022	分析中	—	通年	—
	白鳥台 測定局	PCB	pg/m <sup>3</sup>	—	49	—	—	110	—	—	52	—	—	36	—	—	4回/年	500,000以下 *1
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	—	0.017	—	—	0.028	—	—	0.010	—	—	0.014	—	—	4回/年	0.6以下
水質 (海域)	排水路地先 海域	PCB	pg/l	—	—	120	—	—	—	—	530	—	—	—	—	320	2回/年	検出されないこと *2
		ダイオキシン類	pg-TEQ/l	—	—	0.068	—	—	—	—	0.13	—	—	—	—	0.099	2回/年	1以下
	室蘭海域 ST-4	PCB	pg/l	—	—	280	—	—	—	—	250	—	—	—	—	260	2回/年	検出されないこと *2
		ダイオキシン類	pg-TEQ/l	—	—	0.10	—	—	—	—	0.051	—	—	—	—	0.075	2回/年	1以下
底質 (海域)	室蘭海域 ST-4	PCB	pg/g	—	—	42,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42,000	1回/年	*4
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	—	—	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	1回/年	150以下

\*1 「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCB暫定排出許容限界について(昭和47年12月22日環境庁大気保全局長通知)」に示す値

\*2 検出限界値は0.0005mg/l=500,000pg/l

\*3 ローボリュームエアサンプラーによる1ヶ月連続サンプリング結果

\*4 「底質の暫定除去基準について(昭和50年10月28日環境庁水質保全局長通知)」に示す公共用水域の水質汚濁、魚介類汚染等の原因となる汚染底質の除去等の基準は10ppm(10,000,000pg/g)以上

## 【平成18年度測定結果について】

- ・大気のPCB、ダイオキシン類及びベンゼンの測定結果は、全て環境基準を下回るものとなっています。
- ・底質のPCB及びダイオキシン類の測定結果は、環境基準を下回るものとなっています。
- ・水質については、8月に実施した詳細調査により、採水地点が適当でないことが判明したことから、平成19年度以降、最終放流口で実施することとしています。

## 【周辺環境（JESCO実施分）】

要素	調査地点	調査項目	単位	調査時期					年平均	頻度	環境基準値等
				5月	8月		11月	2月			
				5/2~5/9	7/31~8/8	8/8~8/15	11/2~11/9	2/2~2/9			
大気	敷地境界 東側南端	PCB	pg/m <sup>3</sup>	640	720	270	630	91	470 <sup>*1</sup>	4回/年	500,000以下 <sup>*2</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.015	0.011	0.008	0.020	0.019	0.015 <sup>*1</sup>	4回/年	0.6以下
		ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.92	0.77	2.0	1.0	0.84	1.1 <sup>*1</sup>	4回/年	3以下
水質	雨水幹線 排水路上流	PCB	pg/l	—	5,900	—	—	29,000	17,000	2回/年	検出されないこと <sup>*3</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/l	—	1.6 <sup>*4</sup>	—	—	1.2 <sup>*4</sup>	1.4 <sup>*4</sup>	2回/年	1pg-TEQ/l以下
	雨水幹線 排水路下流	PCB	pg/l	—	8,100	—	—	27,000	18,000	2回/年	検出されないこと <sup>*3</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/l	—	1.7 <sup>*4</sup>	—	—	1.1 <sup>*4</sup>	1.4 <sup>*4</sup>	2回/年	1pg-TEQ/l以下
底質	雨水幹線 排水路上流	PCB <sup>*5</sup>	pg/g	—	44,000	—	—	—	44,000	1回/年	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	—	9.2	—	—	—	9.2	1回/年	150以下
	雨水幹線 排水路下流	PCB <sup>*5</sup>	pg/g	—	27,000	—	—	—	27,000	1回/年	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	—	5.4	—	—	—	5.4	1回/年	150以下

\*1 5回調査の平均値

\*2 「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCB暫定排出許容限界について（昭和47年12月22日環境庁大気保全局長通知）」に示す値

\*3 検出限界値は0.0005mg/l=500,000pg/l

\*4 8月の調査では環境基準を超過したので、2回測定の前平均値を示しています。

また、その原因を調査したところ調査地点の水深が数cmで、採水時に底泥が巻き上げることが判明しました。

確認のために2月に再度測定を実施したところ同様の結果が得られたため、現在の採水地点が適当ではないことから平成19年度以降は、最終放流口で採水することにしました。

\*5 「底質の暫定除去基準について(昭和50年10月28日環境庁水質保全局長通知)」に示す公共用水域の水質汚濁、魚介類汚染等の原因となる汚染除去等の基準は、10ppm(10,000,000pg/g)以上